

“ふるさとちば”のための政策推進を



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

瀧田県議 12/7議会質疑の日に母が逝去

「印西市への病院誘致」強く要望

■印西市特集■ 12月県議会一般質問



たきた敏幸・公式HP
ブログ・毎日更新中!
<http://www.takinowa.com>
滝田 敏幸 検索

12月県議会で2回目の一般質問に立った瀧田敏幸県議

今春の統一地方選＝県議選に印西市選挙区から立候補して初当選を果たした瀧田敏幸(たきた・としゆき)県議(47歳)は、「印西と北総地域が良くなれば、印旛もよくなる。印旛が良くなれば千葉県、日本もよくなる」という地域活性化の「連立方程式」を掲げて、市民の声を活かし、先輩の故大野克己県議の遺志を引き継いだ県政活動に力を尽くしています。若い1期議員ながら6月県議会に続き、12月県議会で2回目の一般質問を行う積極性を見せました。質問当日に県議の母親が亡くなり、失意の中で気丈に登壇しました。質疑は地域で関心の高い医療問題で「印西に病院誘致を」と強く要望したほか、「成田新高速鉄道」「道路整備」などについて政策提言しながら県側を質しました。1、2面で質疑を特集します。

千葉県保健医療計画

3月末までに策定・公示

瀧田 千葉県保健医療計画の見直しについて、現在どのような検討がなされているのか。

知事 現在、県内の各病院等がどのような機能を担っているかといった医療機関相互の役割分担は、必ずしも明確ではありません。そこで今回、がんや脳卒中等の疾病ごとにかかりつけ医、急性期、維持期等の段階に

「循環型地域医療連携システム」の構築を進めています。さらに二次保健医療圏の見直しの検討も行っており、「印旛山武保健医療圏を「印旛地域」と「山武地域」に分割し、「山武地域」については「夷隅長生保健医療圏」と一体化する方向性が、医療審議会において出されているところです。

瀧田 今後の千葉県保健医療計画の見直しスケジュールはどうなっているのか。知事 県の医療審議会において議論を続けていますが、現在、二次保健医療圏ごとに設置された「地域保健医療協議会」でも、地域医療を担っている方々により

「循環型地域医療連携システム」の構築について検討していただいています。また、小規模なタウンミーティングが県内各地で約160回開催されました。救急医療の充実やかかりつけ医の確保、病院間でのカルテ共有等のご意見や提案が出されています。20年2月から3月には、医療のみならず、健康づくりや福祉の関係者が一堂に会する広域タウンミーティングを、県内数カ所で開催し、分野を越えた意見交換をすることとしています。これら提案を踏まえ、平成19年度末(20年3月末)を目標に保健医療計画を策定・公示したいと考えています。

要望 瀧田 千葉県として、印西市救急医療等の現状を理解していただき、病院誘致問題解決にご協力ください。よろしくお願いします。

千葉県・印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たきた敏幸事務所 〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 昭和35年2月 印西町(現印西市)大森生まれ 大森小、印西中、我孫子高卒業
- 昭和57年3月 同志社大学卒業
- 昭和61年5月 滝田洋品店取締役
- 平成11年4月 印西市議初当選(2期)
- 平成19年4月 県議初当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 広報委員会(青年局)
- 印西市消防団副団長・印西市商工会理事・印西市観光協会理事
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

住民のため鉄道、道路を整備

県政から築く

印西市の元気な明日

たまたた敏幸県議

■印西市特集■ 12月県議会一般質問



12月県議会一般質問。自席で再質問をする瀧田県議

北総鉄道の高運賃是正を訴え

瀧田 北総鉄道の高運賃問題について、県はこれまでどのように対応してきたのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 運賃問題は沿線住民の生活に関わる切実な問題な一方、運行のため会社の経営安定化も重要です。県は北総鉄道に266億円の支援をしてきました。運賃、特に通学定期の割引率の改善を申し入れました。今後も設置した北総鉄道利用促進協議会で、沿線6市2村と、問題の検討を重ねていきたい。

瀧田 北総鉄道が過去に投資した線路敷設費用を考慮した線路使用料が設定されるべきと思うがどうか。

平成18年度、北総鉄道は千葉ニュータウン鉄道(船橋小室駅—印旛日医大駅12

・5キロの使用料で20億7200万円を払っている。高砂—小室19・9キロでも年間約31億円が想定できるがどうか。

総合企画部長 線路使用料は、北総鉄道が運行主体の京成電鉄と協議したうえで国に認可申請するという制度になっています。国は審議の上、制度上認可してくるということになります。

瀧田 平成13年調査では、線路使用料は維持管理費のみで、過去の線路敷設費用は考慮されていない。結果として沿線の県民が不公平な扱いを受け、不利益をこうむる可能性が高いと思うがどうか。

また、維持管理費のみとしたその理由と合理的根拠について伺いたい。

総合企画部長 線路使用料の設定は、線路を持つ成田空港高速鉄道(成田空港—土屋)、成田高速鉄道(土屋—印旛日医大)、千葉ニュータウン鉄道(印旛日医大—小室)、北総鉄道(小室—高砂)の4つの線路を京成が運行する成田新高速鉄道が走るという状況です。

瀧田 平成13年調査では、線路使用料は維持管理費のみで、過去の線路敷設費用は考慮されていない。結果として沿線の県民が不公平な扱いを受け、不利益をこうむる可能性が高いと思うがどうか。

また、維持管理費のみとしたその理由と合理的根拠について伺いたい。

総合企画部長 線路使用料の設定は、線路を持つ成田空港高速鉄道(成田空港—土屋)、成田高速鉄道(土屋—印旛日医大)、千葉ニュータウン鉄道(印旛日医大—小室)、北総鉄道(小室—高砂)の4つの線路を京成が運行する成田新高速鉄道が走るという状況です。



県議会で挙手をして積極的に発言す瀧田県議

小林駅前広場など進む

瀧田 県道千葉龍ヶ崎線バイパスは、千葉ニュータウン地区と印西市街地方面とのアクセス向上などを図るため、ニュータウン区域内の都市再生機構施工区間と合わせ延長3・4キロの整備を進めているが、進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県施工区間の約2・5キロについては、現在、用地買収を進めており、19年度末の用地取得の進捗状況は約32%です。今後とも都市再生機構、印西市などと連携し、整備を推進していきます。

瀧田 県道印西印旛線印西

●12月県議会自民党代表質問●

乳幼児医療費の拡大強く要請

12月定例県議会最大会派自民党の代表質問に、石橋清孝県議(東金市選出、3期)が登壇しました。石橋県議は、少子化の中、県民要求の強い乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助成の対象を小学校就学前までに拡大するよう、県の決断を促しました。これに対し、植田浩副知事は「10月から助成対象を1歳引き上げ4歳未満とした」と報告。そして「県議会の意見や県民の強い要望を踏まえ」と、さらなる対象の拡大は必要と認識しているとして、本県の厳しい財政状況や他県などの状況を踏まえて、「長期安定的に実施するために、所得制限の導入や自己負担額の増額なども視野に入れて調整中」と拡大に前向きな回答をしました。

石橋県議は「負担金や所得制限等の条件はあっても、小学校就学前までに拡大すべき」と重ねて要請しました。

地域活性化

地域店と大型店協働の取り組み

瀧田 事業者の地域貢献に関するガイドライン策定に当たっての基本的な考え方は特徴は何か。

商工労働部長 今年度中の公表を目指して現在策定中のガイドラインは、大型店と地域事業者の協働の取り組みを促進することが重要と考えています。主体を大型店に限定せず全ての事業者を対象として地域活性化の協力を促すことが特徴です。さらに継続的に話し合う「協議の場」を設置するよう提案しています。

瀧田 ガイドラインの実効性を高めるため、県はどのように取り組んでいるのか。

商工労働部長 周知はもとより、地域貢献活動や「協議の場」の情報を公表していきます。

また、協議の場は、市町村がまとめ役を果たすことが望ましく、事業者だけでなく消費者の地域住民やNPO等の団体の参加を促し実効性を高めたい。